

平成 29 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 上野 誠

最終学歴	1990年3月国学院大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学（日本文学専攻）	
取得学位	博士（文学、文乙第7号）	
所属学会	全国大学国語国文学会学大会担当委員、上代文学会理事、万葉学会編輯委員、日本文学協会委員（1999-2002、2005～）、民俗芸能学会編集委員、美夫君志会常任理事、古事記学会理事、国学院大学国文学会委員、日本山岳修験学会評議員、吉野町町長特別参与	
専門分野	万葉文化論の方法論の摸索、万葉挽歌の史的研究、折口信夫の方法論の再検討	
研究課題	万葉文化論	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・国文学講読（一）（通年） ・演習Ⅰ（一）（通年） ・演習Ⅱ（一）（通年）
	大学院修士課程担当科目（博士前期課程含）	
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・神話伝承論（集中）
【研究上の特記事項】	京都大学大学院の吉川真司氏との論争（論文①）は、多くの注目を集めることとなった。	
【教育上の特記事項】	ゼミ指導している学生が、国文学科の首席となったことが特記される。	
【社会的活動】	奈良県吉野町の宮滝遺跡の保存の審議会の委員を務めた。	
【学内活動】 （学内職歴を含む）	国内研修のため、個別の学生指導のみに専念した。	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①筑紫万葉恋ひごころ	単	2017年5月	西日本新聞	万葉歌のうち、筑紫関係歌について、最新の研究成果を踏まえて、わかりやすく解説した書物。
②万葉集から古代を読みとく	単	2017年5月	筑摩書房	古代社会において、歌はどのようにその役割を果たしたのか。わかりやすく書かれた新書。
③美しい日本語が話せる書ける 万葉ことば	単	2017年11月	幻冬舎	大和言葉のもつ表現性について、その具体的な用法を、わかりやすく説いた書物。
(学術論文)				
①秋萩木簡と仏前唱歌と—吉川真司氏の批判に答える—	単	2017年8月	『萬葉』第224号	いわゆる秋萩木簡と称せられる木簡の用途について、吉川真司氏からの反論に、再反論を加えた論文。
②南山、吉野の文学—『万葉集』『懐風藻』と神仙世界—	単	2017年9月	辰巳正明編『『万葉集』と東アジア』	吉野の古代文学を、神仙思想との関わりから解明した論文。
③讃酒歌の酒一酒をめぐる 頌讚の文学様式から—	単	2017年9月	『論集上代文学』第38冊	讃酒歌の酒をめぐる、その文学の淵源を、中国文学における酒をめぐる頌讚文学に求めた論文。
④裳をめぐる万葉歌表現—裳のいろいろ(前)—	単	2018年3月	『早稲田大学日本古典籍研究所年報』第11号	裳がもつ社会的表象について、奈良平安時代を通時的に俯瞰した論文。
(学会発表)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				
①(座談会) 古典のあり方をめぐって	共	2018年2月	『國學院雑誌』第119巻2号	中国文学、西洋文学、日本文学の古典のあり方について、各古典文学の泰斗が、自由に語り合った学術座談会の雑誌発表。